

武蔵大学、並びに大学院研究科へご入学の皆さん、誠におめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックという非常に困難な状況が続いたにもかかわらず、今日まで勉学に励み、努力を続けた甲斐があって、この伝統ある武蔵大学に入学された皆さんに心からお祝いの言葉を贈ります。また、このように優れたお子様を育てられた保護者の方々にも心よりお祝いを申し上げます。

武蔵学園はわが国初の私立七年制高等学校として1922年に創立いたしました。創始者の初代根津嘉一郎は鉄道王とよばれた実業家でしたが、1909年、米国実業界の招きにより、当時第一銀行頭取であった渋沢栄一を団長とする渡米実業団が組織された際に、若きメンバーとしてこれに参加し、約4ヶ月にわたって、アメリカの53の都市を歴訪しました。

その間、ハーバード大学、イエール大学、ジョンズ・ホプキンス大学、カリフォルニア大学など、現在でも存続する主要な大学を含めて20以上の学校を訪問したと記載されています。米国滞在中、ロックフェラーを始めとする米国の著名な財界人が巨額の私財を投じて公共事業に尽力している姿に触れ、育英事業への志を深くしたそうです。帰国後、教育事業構想を実現する為に、当時、日本の教育界の重鎮であり、教育会議の改革派メンバーであった一木喜徳郎、山川健次郎などと相談。多額の私財を投じて、財団法人根津育英会を設立し、旧制武蔵高等学校を開校したのです。

根津嘉一郎の語録には、『社会から得た利益は社会に還元する義務がある』、『国家の繁栄は育英の道に淵源する』などがあり、これらの考えを実践したのが旧制武蔵高等学校創設だったわけです。

第二次世界大戦後、教育制度改革を余儀なくされた我が国では、旧制七年制高等学校が廃止され、1947年、教育基本法の制定に伴い、義務教育として小学校・中学校の9年、その上に高等学校、更に大学が置かれる学校制度が出来上がりました。1948年、旧制武蔵高等学校は新制武蔵高等学校となり、1949年に経済学部単学部として武蔵大学が創立されたのです。以後、1969年に人文学部が、1998年には社会学部が開設され、昨年、新たに国際教養学部が開設され、4学部からなる武蔵大学となりました。

先程、高橋学長も述べられましたが、武蔵学園は、建学以来、三つの理想を掲げて教育を行っています。繰り返して紹介いたします。

建学の三理想とは、

- 一． 東西文化融合の我が民族理想を遂行し得べき人物
- 二． 世界に雄飛するにたえる人物
- 三． 自ら調べ自ら考える力のある人物

を育成する事です。

この三理想は作られてから実に100年の年月が経つのですが、全く色褪せることなく、むしろ、急激に国際化が進みグローバル化が叫ばれている現代において一層輝きを増している極めて適切な教育理念であり、改めて本学の先駆者に深い敬意を表するものです。そして、この理念に基づいた教育が今日に至るまで連綿と行われ、多くのグローバル人材を輩出してきた事は武蔵学園の大きな誇りです。

現在、我が国は少子高齢化という深刻な問題に直面しています。昨年の出生数は初めて80万人を割りました。1990年頃の18歳人口は200万人であったのに2019年には117万人に減少し、政府の出した人口予測によると2040年には100万人を切って88万人になるとされています。一方、医学の進歩もあって平均寿命は著しく伸び、女性で87.7歳、男性で81.6歳です。現在、65歳以上の人口は全体の28.7%を占めていますが、2055年には全人口の40%に近

くなると予想されています。100 歳以上の高齢者を百寿者と呼びますが、現在、百寿者の数は全国で 86,500 人と言われ、1990 年の時の 3,300 人と比べて 25 倍以上に増えているのです。

予想を遥かに上回るスピードで進んでいる少子高齢化にも拘わらず、我が国の対策は遅れ、教育や福祉面に大きな影響を及ぼしています。結果として日本の科学技術力・研究力は近年著しく低下してきています。最近の我が国の学術論文数をみるとその減少は顕著で、アメリカ、中国に大きく水を開けられ、ドイツの後塵を拝している状況です。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まって以来、世界各国でコロナウイルスに関する基礎的、臨床的、疫学的研究が行われており、それらの研究論文が WHO でまとめられていますが、我が国からの COVID-19 関連の論文数は世界で第 14 位であり、諸外国に大きく水を開けられています。ここでも研究力の衰退が指摘されているのです。

これらの状況を打開し、日本が科学技術立国、経済大国としての輝きを再び取り戻す為には、大学進学率が 55 % に達している今日、大学における学習環境を整備し、教養教育、専門教育を一層充実させ、皆さんのように優秀な大学生がその能力を最大限に発揮出来るようにする事だと思います。武蔵大学では皆さんの学びの環境の充実に向けて努力を重ねて参りますので、皆さんもそれに応え、グローバルリーダーとして活躍する人物になるべく学習に励んでください。

OECD が 2018 年に行った高校生の「学習到達度調査」によると、日本の高校生の「数学リテラシー」は世界第 6 位、「科学的リテラシー」は第 5 位、「読解力」は世界で第 15 位だと言う事です。高校までの学習到達度は世界水準で見て高いレベルを維持しています。

一方、大学一年生の勉強時間を日米で比較した調査結果をみると、一週間で 11 時間以上予習や復習をしている大学一年生は米国では 58.4%であるのに対して、日本では 14.8%のみ。一方で 1～5 時間の予習、復習しかしていない大学生一年生はアメリカでは 15.3%であるのに対して、日本では 57.1%だそうです。全く予習・復習をしない学生はアメリカでは 0.3%であるのに対して、日本では 9.7%と言う数字が出ています。皆さんには大学生活において自分が興味を持つ学問領域を更に深く学び、新たな気づきを感じる事の楽しさを十二分に味わって欲しいのです。最も重要な事は「大学で何を学んだか？何を身につけたか？」という「学習歴」です。単なる学歴は意味が無いのです。

昨年、創立 100 周年を迎えた武蔵学園では、これからの 100 年を見据えて新しい事業計画をスタートさせています。根津公一理事長は、新理事長ドクトリンとして「世界の多様な人々と共に、人類の課題解決にリーダーシップを発揮する、知性と教養ある人物を育てる学校」を目標に掲げ、これを受けて、新学園長プランとして、「世界に開かれたリベラルアーツ・サイエンスの学園」を目指す事を掲げました。リベラルアーツ・サイエンス教育とは文理の壁や科目の別を超えて、人間として必要な創造力、思考力、判断力、応用力などを養うために、人文、社会に及ぶ基礎的な学術と科学とを学び、深い教養を身につける事です。

広い見識と行動力を持つ新しい DX 時代のグローバルリーダーを育成する為の学習環境を整える計画を進めています。

リベラルアーツアンドサイエンス教育センターを新設し、教育カリキュラムの充実を図っています。武蔵型の ICT/AI 教育モデルを導入し、データサイエンス教育を全学的に推進することによって、皆さんには国内外にあるビッグデータの良き理解者、賢い利用者となって欲しいと思っています。

これまで専門学問領域として広く文系・理系という分類がなされて来ました。自分は文系人間だ、或いは、理系人間だという話も良く聴きます。武蔵大学は経済学部、人文学部、社会

学部、国際教養学部の四学部からなっており、その意味では文系の大学と考えられてきた訳ですが、この考え方は適切なものでしょうか？国際化が進む 21 世紀の大学教育においては、これまでの専門教育の体系だけにこだわらず、文理の壁を越えた新たな学問体系を再構築する必要があります。文系と言われていた学問領域においても数学や科学の考え方を身につけることが当たり前のことになって来ています。皆さんには、優れた観察力、科学的なものの考え方を身につけ、創造性豊かな議論が出来る人物になって貰いたいと思っています。

そして皆さんには、現在の課題解決のみならず、未来を予測し来たるべき時代にも対応出来るリーダーとなって欲しいのです。先程は人口予測のお話をいたしました。現在、各領域で「技術革新」の未来予測が盛んに行われています。私の専門は医学ですが、医学領域で言えば、人類が地球を離れて月やその他の惑星に行く時代が到来することにより、宇宙医学が重要な研究領域になることでしょう。AI が医師に替わって病気の診断をしたり、ロボットが外科手術をしたりする時代がそこまで来ています。医師の役割が大きく変化する事でしょう。技術革新により安くて、迅速な遺伝子解析が可能になると、ゲノム医学が医学・医療の主流になりガンを始めとする難病の克服が実現するでしょう。遺伝子改変技術の進歩により、細胞機能を自由に調節する事が可能になり、再生医学の進歩と相俟って心臓、脳などの「重要臓器の再生技術」が進む事で医療は大きな転換期を迎えるかもしれません。技術革新が物凄い勢いで進む時代です。皆さんにはそれぞれが専門にしている学問分野のみならず、他分野にも目を向け、未来を予測しながら自分の進むべき道を考えてください。

武蔵大学では、世界に雄飛する人材の育成に向けて、海外留学支援のための奨学金制度の充実を図っています。皆さんはこれからの大学生活で、教養を十分に身につけ、外国語を自分のものとし、ゼミなどを通して討論する力を磨いてください。世界共通の言語である英語は勿論のこと、第二外国語も習得し、国内外の研究者や専門家と意見を交換し、それぞれの専門分野でグローバルリーダーとして活躍出来る人になって欲しいと願っています。

武蔵野の面影を残す、自然豊かなこの美しいキャンパスで皆さんが心身ともに健康に、学問に励み、運動部や文化クラブ活動を通じて楽しい日々を送られる事を祈念して、私の祝辞と致します。

皆さん、ご入学おめでとうございます。

令和 5 年 4 月 2 日

学校法人根津育英会 武蔵学園
学園長 池田 康夫